

千電協だより

第52号

2007年5月20日発行



- ・ 第44回通常総会
- ・ 総会会長挨拶
- ・ 新理事・新監事の抱負
- ・ 各委員会新委員長挨拶
- ・ 新年度協会組織構成
- ・ 防災協定（千葉県水道局）
- ・ 三県連絡会議（春季）概要
- ・ 災害応急対策項目の変更について
- ・ 19年度1級電気工事施工管理技術検定受験準備講習会報告
- ・ 2007年 協会行事予定
- ・ 事務局からのお願い
- ・ 会員消息
- ・ 平成19年度県組織改正及び人事異動
- ・ 会務報告

第44回通常総会開催



(総会)

第44回通常総会が2月14日(水)14時30分よりオークラ千葉ホテルにおいて開催された。

平成18年度事業報告・収支決算報告、平成19年度事業計画案及び収支予算案組織改正案並びに会費改定案など原案通り可決承認された。任期満了に伴う役員改選では、並木会長、富田副会長を再選。會田副会長は勇退し後任に輪湖常任理事、渋谷理事が就任した。

議事に先立ち並木会長から次の通り(2頁掲載)の挨拶があった。

総会後の懇親会では、堂本千葉県知事が祝辞を述べ県及び関係団体多数の来賓とともに和やかな雰囲気のうち18時散会した



(懇親会)

堂本知事



並木会長

新役員紹介

第44回通常総会において役員改選が行われ、新役員が承認されました。

役職名	氏名	会社名	
会長	並木 鷹 男	城南電設企業(株)	代表取締役
副会長	富田 武	富田電機工業(株)	〃
	輪湖 葆 子	アヅサ電気工業(株)	〃
	渋谷 吏 朗	(株)三矢電設	〃
理事	黒木 道 寛	(株)小磯電気工業	〃
	五十嵐 治 美	友信電気(株)	〃
	濱名 敏 功	ニチデン工業(株)	〃
	大嶋 敏 樹	(有)大嶋電機工業	〃
	神定 一 雄	総武電気工業(株)	〃
	鈴木 利 雄	(株)鈴木電気	〃
常務理事	山内 伊与治	(社)千葉県電業協会	事務局 長
監事	増田 健	(株)増田電気工業所	代表取締役
	渡辺 勝	渡辺電機水道(株)	〃
	御園生 隆	御園生経営労務管理事務所	所 長
顧問	宮内 三 朗		
	関 泰 雄	モデン工業(株)	代表取締役
	喜多村 賢一郎	千葉電気工事(株)	〃

(社)千葉県電業協会第44回通常総会

会長挨拶 並木 鷹男

平成19年2月14日
(オークラ千葉ホテル)



本日は、両顧問を始め会員の皆様方におかれましては大変ご多用のところ、又遠路当協会の第44回通常総会にご出席頂きまして誠に有難うございます。

会員の皆様方のご理解、両顧問のご指導、そして理事の皆様方のご支援のお陰で、この二年間の任期を大過なく全うすることが出来ましたことを心から感謝申し上げます。

任期中、予測を遥かに上回る急激な我が国経済の変化と、業界の構造変化に翻弄され、会員の皆様方にお約束申し上げた公約を全て、全うできたかは甚だ不如意に存じます。

しかしながら、理事の皆様、事務局の皆様には数多くの委員会事業、特別PJに真剣に取り組んで頂き、又対外的な折衝、陳情など業界、協会、会員企業発展の為に、自社の業務を投げ打って懸命に協会運営に尽力して頂いたことをご報告し、改めましてこの場をお借りして感謝申し上げます。

就任当初にお約束申し上げました“開かれた協会”を目指して協会改革特別PJを結成し、オーナーの皆様のご意見に存分に耳を傾け、理想とする協会についての声を数多くお聞きし、心を新たに改革の準備を着々と進めて参りました。

その成果として輪湖常任を始めとする協会改革特別PJの皆様が、一年間の長きに亘り、調査・研究・検証を重ね、協会の未来を見据えて財政の健全化、組織の簡略化、諸規定の明確化、分担会費の公平化、事務局のIT化等多岐に亘り、その成果物としての改革案『これからの協会のあり方』を纏め上げ提案して頂きました。

本協会創立以来、このように大掛かりな改革案は恐らく初めての試みであったろうと存じますし、ある意味本協会の第二創立と申し上げても過言のない改革案でございます。

本日の総会において会員の皆様方のご理解を賜れば、次年度に引き継ぎ、次年度は愈々その実行の年度になろうかと存じます。

又、通常の事業運営に関しましてもこれから詳細な事業報告がございますが、目を見張

るような大きな成果をお示しすることは叶いませんでしたが、計画された全ての事業は各委員会の皆様方大変ご努力により、完全に遂行され会員の経営力の向上、IT化の推進、技術力の向上、安全への意識向上など、会員企業の資質の向上に寄与して頂いたと確信しております。

又、宮内顧問のお取り計らいにより堂本知事にも面談が叶い、喜多村前会長の大きな置き土産である災害防止協定の締結、この協定による地域社会、県民への社会貢献事業をご理解頂き、又業界の窮状を訴え地産地消を掲げる知事に地元業者優先発注、下水道プラント工事のメーカーとのJV発注などをよくよくお願いして参りました。

加えて、会員企業の受注機会の増大を図る目的から、県立高校の空調PJを立ち上げ、富田副会長の下に濱名委員長と新風塾の若手の皆さんで、これも大変な苦勞をしながら造注活動を推進し現在も展開中でございます。

只今、ご報告申し上げましたように理事役員の皆様方は私利私欲を捨て去り、協会発展の為に必至に懸命に任期を全うして参りました。どうか今後も会員の皆様方の深いご理解とご鞭撻を賜り、本日の総会の議案に関しましてご理解ご賛同を賜りますよう伏してお願い申し上げます。



新理事・新監事の抱負

新理事

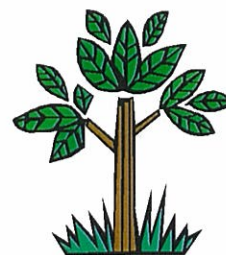
防災・安全委員会副委員長 鈴木 利雄



新緑の美しい季節となりました。会員の皆様には、ますますご健勝でご活躍のこととお喜び申し上げます。今までは、会員の方々のお導きの中、後から付いていけば良い環境のなかで過ごさせていただいて参りましたが、防災安全委員会の副委員長に任命されまして、これからは会員の皆様のお役に立つことが出来るように努力してまいりたいと思います。

地球環境がどんどん悪くなる一方で地震等の災害がおもいがけない地域で起こったりするのを見ますと普段の忙しい生活の中では、つつい後回しにしてしまう防災対策もしっかり計画を立てて、いざと言う時実行に移せるように準備をして行かないといけないと言うことが良くわかります。電気工事業に携わる者として、復旧に貢献できるように知恵を出し合い協力して参りたいと思います。

何分不慣れで有りますので、どうぞ皆様のご指導を賜りますようお願い申し上げます。



新監事

監 事 渡 辺 勝



この度、監事を務めさせていただくことになりました渡辺勝と申します。これまで一会員として末席を汚してきたのみで、荷の勝ちすぎる職務ではありますが、協会の更なる発展のため、各方面のご教示、ご尽力を賜りながら微力を尽くし精進してまいる所存であります。

今、社会の中で「新しい価値観を創造するための企業の社会的責任」が注目を集めています。我々建設業界は、企業の社会的役割・責任では本業をとおして優れた技術・サービス等で良いものをより安く作ることはもとより利益の確保と納税、雇用の維持と創出、環境保護への取組み、地域社会との共生、危機管理など様々な課題に対して素晴らしい貢献をしています。そして、また、会員がさらなる連携を図り地域社会のために英知を結集して頑張っていきたいと思っております。

会員各位の特段のご協力を心からお願い申し上げまして就任の挨拶とさせていただきます。



新監事

監 事 増 田 健



この度、並木会長より協会の監事の役に着いてくれないかとの依頼があり、直ぐには返事できませんでした。人は皆それぞれ得手不得手がありますが、読み書きよりも手先の技術的な方が得意な自分が協会のためにお役に立てるのか不安は残りますが、会長の要望があまりにも強いものとなり自分の気持ちが揺らぎお受けすることにいたしました。

私は常々「大事の前の小事」と言う諺を頭に浮かべます。大きな事を行う場合には、小さな手抜かりに気をつけないと失敗を招く恐れがある。だから、些細な事を馬鹿にしてはならない。この言葉、意味合いがすごく好きなのですが、この中に小事を馬鹿にするなどありますが、多少は小事を犠牲にしなければならないのではないかと思う。囲碁のなかでも捨石をして大きく地を稼ぐのように少々のご事は仕方がない。なんとなく矛盾しているような気がしますが、やはり最終的には大きい事の方が大事なのでしょうか・・・。

今回、役員の一員とさせて頂いた以上は大きい事も小さな事も大切にして、諸先輩ならび事務局皆様方のご指導を仰ぎながら業務に務めさせていただく所存でございます。

若輩者ではございますが、何卒宜しくお願い申し上げます。



各委員会新委員長あいさつ

総務・経営委員会 委員長 五十嵐 治美



今年度の委員会組織再編で「総務・経営委員会」が発足しました。昨年の協会改革特別プロジェクト委員会で再編にあたり、本年度から3つの委員会で活動を進めておりますが、当委員会は会員と協会の将来をどう描いていくかを模索していく中で、具体的な企画提案を推進していきます。

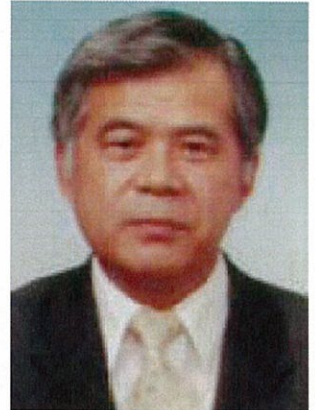
建設業は今までとは違う厳しい環境に順応すべく過渡期に直面しています。会員と協会成長発展のためには、今後予想される少子化による人材難、技術者不足問題とその他の施策として、次のことが考えられます。

- ・若手人材が定着できる環境整備
- ・女性が活躍できる仕事を育成拡大できる環境整備（男女共同参画）
- ・インターンシップの推進
- ・公益認定法人への条件整備
- ・経営者の高齢化及び後継者問題

など克服すべき多くの課題があります。これらを、協会できなければならないこと、協会だからできることとして認識し、会員皆様のご意見を取り入れ、希望の持てる将来を築けるよう委員共々更なる躍進に努めていく所存です。



技術・渉外委員会 委員長 濱名 敏功



協会の組織改正により、今年度より従来の「技術資材委員会」と「企業渉外委員会」が統合し「技術・渉外委員会」としてスタート致しました。

公共工事の縮減や入札制度の改変による受注機会の減少で、会員の皆様は厳しい企業運営を迫られておりますが、当協会員の優先指名を目的とした県出先機関・県内市町村への陳情を推進して参りたいと思います。

又、情報化・ハイテク化の進む電設資材の動向、新商品に関する情報提供についても普及促進に努めたいと思います。

組織のスリム化や事業費の削減などで、協会の運営上では少数精鋭主義をとり担当委員数が統合前よりも少なくなっておりますので、会員の皆様・委員各位のご理解と、より一層のご協力を宜しくお願い致します。



防災・安全委員会 委員長 大嶋 敏樹



防災・安全委員会は協会改革第1段階の委員会活動の高効率化を目指すために、旧災害対策委員会と旧安全衛生委員会を統一した新委員会で、担当事業活動は安全衛生関係及び災害応急対策が主な内容になり、組織構成員は担当副会長・委員長・副委員長・委員（6名）の他に防災情報連絡員（他委員会所属9名）また非常時、災害対策本部設置後は総務・経営副委員長及び技術・渉外副委員長・初動要員（6名）、また各方面主任・班長・班員の協会会員全員を含めた委員会です。

申し遅れましたが私、上記委員会の委員長を拝命いたしました大嶋です。

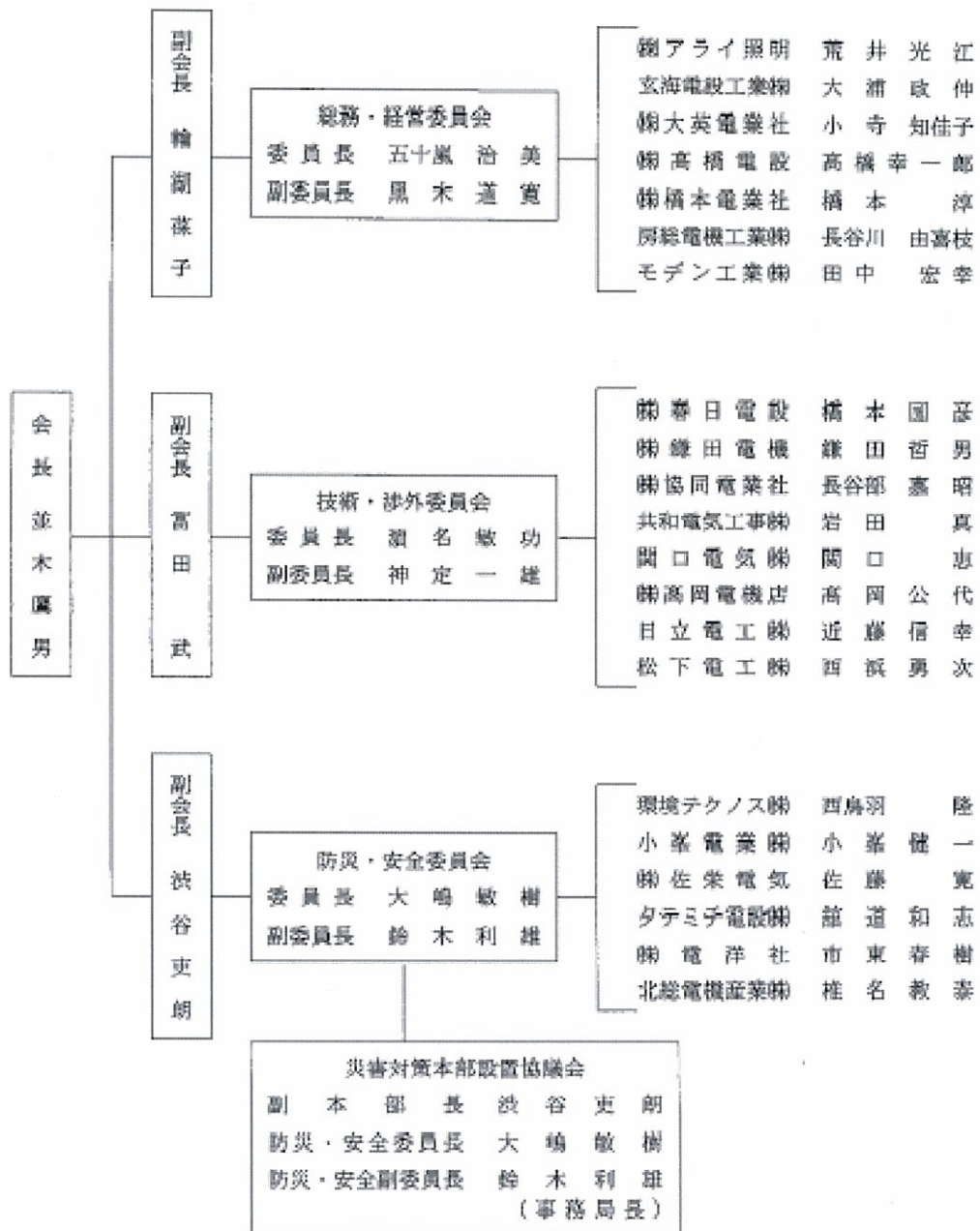
先年度旧災害対策委員長を半期務めた未熟者ですが入札・契約制度の変更等による協会を取り巻く環境が厳しく変化しているこのような時期に、この委員会活動が会員皆様のメリットになるよう何事も、皆で考え皆で行動する協会員全員参加型の事業活動でありたいと考えています。

何分不慣れであり、また微力ではありますが皆様のご指導ご鞭撻を抛り所として精進します。拙文であります就任挨拶文と致します。



協会組織構成

組 織 構 成



平成19年4月1日現在

総務・経営委員会



技術・渉外委員会



防災・安全委員会



千葉県水道局との「災害時等における水道施設の応急復旧工事に関する協定」の締結について

日時；平成 19 年 3 月 28 日（水）10：00～

場所；水道局幕張庁舎 2 階 局長室

（出席者）

千葉県水道局；金親局長、新行内水道危機対策監、加藤浄水課長、中村危機管理対策室長、野村主査

千葉県電業協会；並木会長、大嶋防災・安全委員長、山内事務局長

年度末も押迫った 3 月 28 日、予ねてより事務サイドで協議してきた標記協定について、県水道局の金親局長と当協会の並木会長により調印式が行なわれた。

冒頭、金親局長から協会の協力で短期間に協定に漕ぎ着けたことに謝意を表され、水道は県民のライフラインを担っており災害時にも供給する使命を負っていることから、最新の情報ネットワークを整備し万全の体制を構築しているが、水道施設を動かす元となる電気についての災害復旧は電業協会のご協力が不可欠である。これを機会にお互いの協力関係を堅持していきたい旨挨拶があった。

続いて当協会の並木会長から、当協会を信頼いただいて協定の締結をさせて頂いたことに謝意を表し、協会は 120 数社の会員による県下全域のネットワークが整備されており、県との協定を結び社会的使命を重く受け止めて日々努力している。電気が無くては何もできない時代であり、災害が無くとも日々のメンテナンスは大変重要である。協会会員が疲弊しては災害時の協力もできないので、地元の我々にできる仕事があれば協力させていただきたい旨挨拶された。

この後、水道局危機管理対策室の野村主査による協定文の読上げがあり、双方異論の無いことを確認した。

続いて調印に移り、局長と協会会長それぞれ押印した協定文を交互に取り交わし、握手して調印式を終了した。

水道局の災害時に管理する施設は現在 100 箇所程度あり、東葛、葛南、印旛、千葉中央及び市原といった県北西部に広範囲に散在しているが、県土整備部の管理道路等との位置づけと合わせ、施設を担当する会員を張り付けていくことになる。

これらの内容は、今後開催される防災・安全委員会等において整備される予定。

協定調印式



金親局長 並木会長

「三県連絡会議（春季）」の開催

平成 19 年 5 月 11 日

(横浜 ホテルキャメロットジャパン)

千葉・埼玉・神奈川の電業協会が構成する「三県連絡会議」が、平成 19 年 5 月 11 日(金)横浜市内の「ホテルキャメロットジャパン」で開催された。幹事の神奈川県電業協会が主催、会議の議題は以下のとおりで、活発な議論が交わされたが各県の状況報告の内容が多かった。

連絡会議題

(1) 日本電設工業協会団体年会費の値下げについて (千葉提出)

年会費の値下げを要望していくことに対し、電設協も会費で運営しており退会者も多い。会費値下げ要望を通して電設協の運営のあり方も含め新しい会長に検討してもらうよう進言していくこととなった。

(2) 日本電設工業協会人材育成に係る事業の助成について (千葉提出)

「経営塾」の費用や「男女共同参画講習会」への助成を要望していくことに対し、各県もそれぞれ補助や継者育成に対する助成を希望しているので、助成に対するこれらの問題も今後詰めていくこととなった。

(3) 建設関係の共益費について (埼玉提出)

建設業、空調、電業協会が協定した共益費についての妥当性についてであるが、状況は各県まちまちであるので、このような問題も電設協で音頭をとってもらようよう要望していくこととなった。

(4) 各協会の現状と今後の協会運営のあり方について (埼玉提出)

① 公共事業の発注における協会員と協会員外との差別化について

発注時点での条件付けで、会員・非会員に差をつける手段については、神奈川県は防災協定を前面に、千葉県は一般競争に制限をそれぞれ要望している。

② 協会員の会費及び入会金について

各県の状況については、埼玉県は会費を値下げし会員を増やす方向と余剰金を減らしていくこと、また千葉県は完工高方式から完工高、企業規模、総合

評点等の係数方式としたこと、神奈川は経審点数と評点、地域区分を取り入れていることなどが紹介された。

③上下水道プラント工事発注方法について

埼玉県は、上下水プラント工事がメーカーと県内JVで7：3でできたが、今年から全部メーカー発注となったことが紹介された。メーカーは性能発注でイニシアチブをもっており行政もメーカーに依存せざるをえない状況で、この件は、我々の手に負えるエリアではない旨の意見があった。

(5) 各県の最低制限価格の設定及び発注方法について (埼玉提出)

埼玉県では県庁は最低制限価格制度(物件により80～85%)を設けているが、市町村レベルではまだ制限価格を設けていないところが多いとのこと。神奈川県は低入札が25%以下で最低制限価格は85%でこれ以下では失格、また事前公表をしていないとのこと。千葉県は2500万円以上は低価格入札の対象となり調査対象価格となっていることなどが報告された。

(6) 県との防災協定の締結について (神奈川提出)

神奈川県との防災協定が1月23日に建設関係6団体との合同で締結した。防災拠点となる県有施設(48施設)について、県の災害対策本部(設置は震度6弱)からの要請を待たず自動出動する体制である。また、点検の範囲も建物や付帯設備を対象に施設管理者の指名により実施。庁舎など公共施設を対象としており、また3業種での点検と自動出動は都道府県レベルでは始めてであることなどが報告された。

(7) 国・県・市への意見・要望について (神奈川提出)

神奈川では協会として国・県・横浜市などへ予算要望時期(6月～7月)に共産党を除く各政党に対しそれぞれに要望事項纏め要請している。特に横浜市は規模が大きいので市電設協会と電業協会の連名で、川崎市は川崎市電設協会に要望、回答も各党からもらっているとのこと。千葉県では分離発注を要望、陳情や請願もあるが議員や直接要望するなどその状況に応じて行なっていること。

などが紹介された。

(出席者)

千葉県電業協会：並木会長、富田副会長、輪湖副会長、渋谷副会長、山内事務局長
埼玉県電業協会：佐野会長、荻野副会長、島村副会長、岡村副会長、荒川事務局次長
神奈川県電業協会：内藤会長、加藤副会長、十八日副会長、山口副会長、工藤常任理事、杉山常任理事、原田常任理事、藤澤常任理事、松田常任理事、大竹常務理事

災害応急対策の変更について

平成 19 年度から協会組織を災害活動を中心とした組織体制に改め、広域の災害活動にも対応すべく協会事務局に「災害対策本部設置協議会」を設置し、この協議会において情報の収集から会員の出動要請まで全てを統括することといたしました。

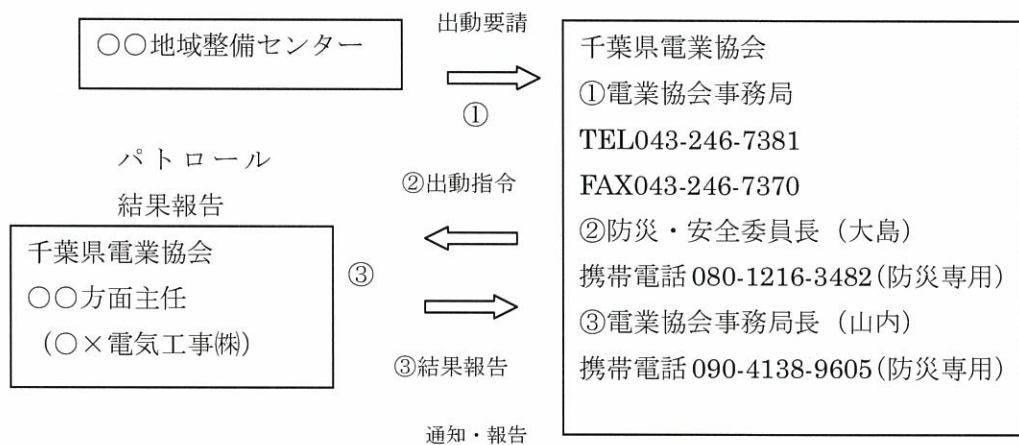
変更事項

1、第 2 配備（勤務時間外）「震度 5 弱」の変更について

現 行：自動配備によりパトロール実施 → ○○地域整備センター

↓

変更後：第 2 配備の場合の千葉県電業協会のパトロールの出動は、「地震・風水害・その他の災害応急対策に関する業務細目協定」を締結している県土整備部各出先機関の要請による。



2、出動要請の連絡先変更について

現 行：○○整備センター ←-----→ 千葉県電業協会 ○○方面主任

(○×電気工事株)

TEL○○○-○○○-○○○○

FAX○○○-○○○-○○○○

↓

通知・報告

変更後：○○整備センター ←-----→ 千葉県電業協会

①電業協会事務局

TEL043-246-7381

FAX043-246-7370

②防災・安全委員長（大嶋 敏樹）

携帯電話 080-1216-3482(防災専用)

③電業協会事務局長（山内伊与治）

携帯電話 090-4138-9605(防災専用)

平成19年度 1級電気工事施工管理技術検定受験準備講習会報告

平成19年5月18日～5月21日
(建設業センター3階会議室)

電業協会恒例の1級電気工事施工管理技術検定受験準備講習会が、平成19年5月18日(金)から20日(日)までの3日間、建設業センター3階会議室にて行なわれました。

今回の受講生は18名で会員企業の従業員の方々が15名、非会員企業から3名が受講されました。初日のオリエンテーションで濱名委員長から「1級電気工事施工管理技士は安全で質の高い工事を施工するため必要な資格である。協会の行なっている講習会は他と比べて合格率が高いと言われているが、6月10日の受験に向けて是非頑張ってもらいたい。」旨挨拶がありました。

今年度からテキストが電設協の講習と同じものを使用することになりましたが、大きな内容変更はないものの講師陣としては事前の確認に時間を割いた様子でした。

5月のこの時期として天候にも恵まれ、昨年度のような酷暑ではなく程よい気温であり、設備があまり立派とはいえないセンター会議室ではありましたが、居眠りする受講生もおらず講師の話に熱心に耳を傾けていました。

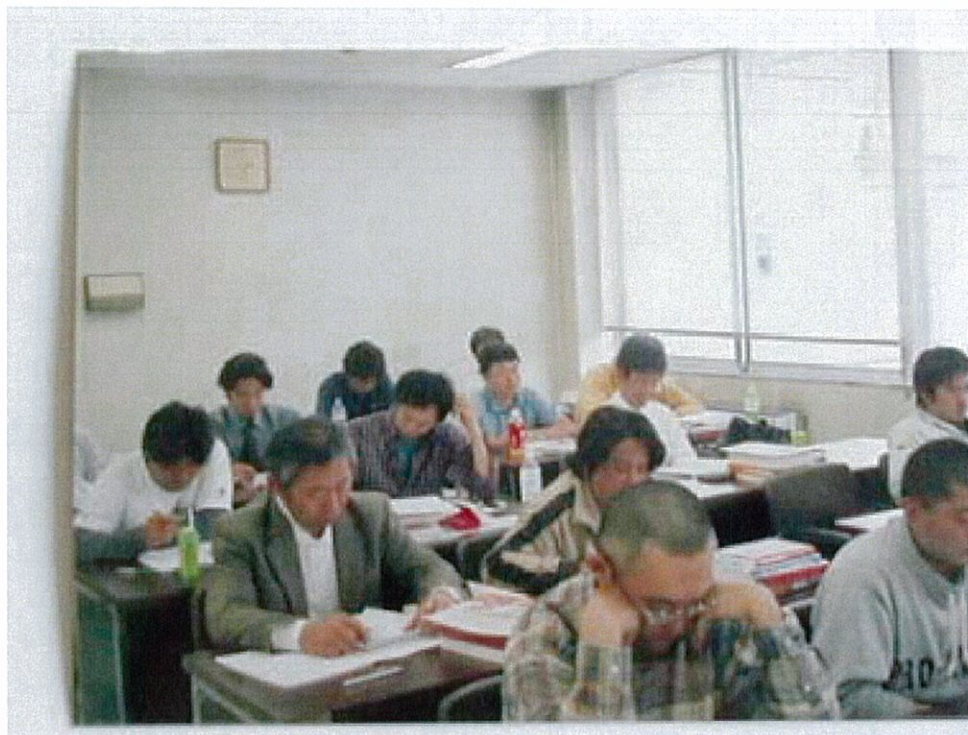
なお、土曜と日曜はセンターが休みのため施設全体にセキュリティがかかり、裏口からの出入りを余儀なくされたこと、また工事中で駐車場が少ししか使用できなかったことなど、受講生には多少不便な思いをさせていただきました。

しかし、アンケートを見ると交通の便については約4割の方が大変良い、6割が普通となっており、また会場としてはほとんどが普通とし、悪いと思った方は1名でした。

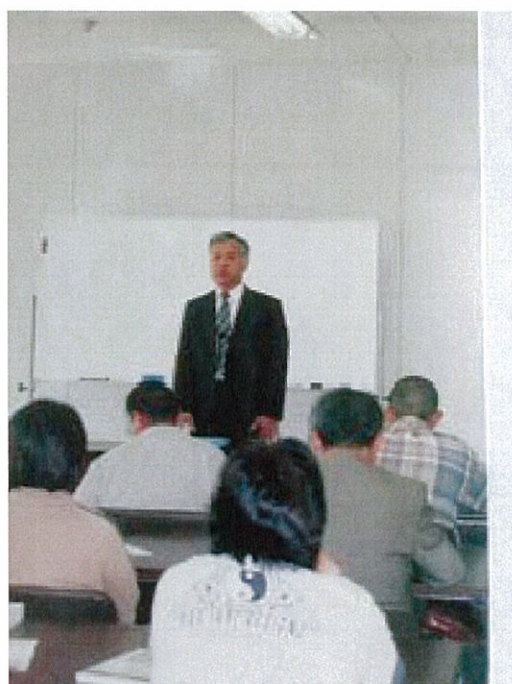
講習内容についてもほとんどの方が大体わかったとし、講習時間も今回の時間で良いと思っている方がほとんどでした。事務局としてはアンケートの結果を踏まえ、受講環境の充実に今後も努力して参ります。



1級電気工事施工管理技術検定試験受験準備講習会



受講風景



濱名委員長挨拶



講義

2007年 協会行事予定

5月18日～21日

1級電気工事施工管理技術検定試験受験準備講習会

技術・渉外委員会

9月

県土整備部震災訓練

防災・安全委員会

9月

普通救命講習会

防災・安全委員会

10月

安全パトロール

防災・安全委員会

2級電気工事施工管理技術検定試験受験準備講習会

技術・渉外委員会

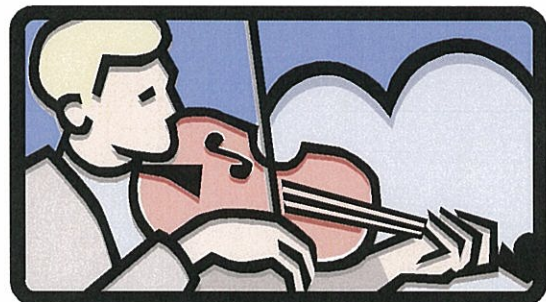
11月

安全衛生大会

防災・安全委員会

技術講習会

技術・渉外委員会



事務局からのお願い



現在協会では、お知らせ・通達・案内等をメールにてお知らせいたしておりますが、未開封による通知漏れが多々あるようです。

簡単でわかり易いように、また漏れのないよう努力いたしますので、重要なお知らせもありますので、協会からのEメールは必ず開封をお願いいたします。

また、19年1月よりホームページをリニューアルいたしましたが、お知らせ等の詳細については、ホームページの会員専用ページに掲載いたしております。



会 員 消 息

代表者変更

(正会員)		(新)	(旧)
タテミチ電設(株)	代表取締役	舘 道 和 志	舘 道 久 雄
(株)栄電社	代表取締役	片 岡 眞一郎	中 川 誠
(有)大熊電気工事店	代表取締役	大 熊 隆 男	大 熊 貞 雄
(株)橋本電業社	代表取締役	橋 本 淳	橋 本 保 伯
(株)森電気工業所	代表取締役	森 明 治	森 清
(株)新都市サービスセンター	代表取締役	石 原 一 征	石 原 宏 子

役職者変更

(賛助会員)			
ニッタン(株)	千葉支店長	恒 屋 隆 之	河 合 広 嗣

社名変更

(旧会社名)	(旧会社名)	(新会社名)
京葉エフ・ディ・ケー(株)	富士電機水環境システムズ(株) 平成19年1月1日	(株)エス・アイ・シー 平成19年4月1日

組織変更

(新)	(旧)
(有)伊原電気商会	(株)伊原電気商会

住所変更

小峯電業(株)	(新)	千葉市若葉区高品町1030-3
	(旧)	千葉市若葉区若松531-405

伊藤電業(株) (新) 千葉市若葉区東寺山1075-3
(旧) 千葉市若葉区愛生町14-8
関口電気(株) (新) 千葉県柏市篠籠田485-2
(旧) 千葉県柏市松葉町6-43-2

訃報

(正会員)

(有)大熊電気工事店

代表取締役 大熊 貞雄 平成19年2月4日 ご本人 享年53歳

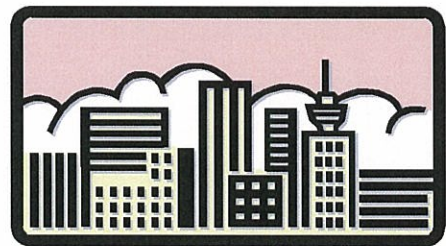
退会

(正会員)

北園電業(株) 平成19年2月28日

(株) 相互 平成19年3月31日

(株)比企電工 平成19年3月31日





県の人事異動



平成19年4月1日付

(関係分・敬称略・順不同)

()は旧所属

県土整備部

まちづくり担当部長	(環境生活部理事)	嶋崎 仁
理事(兼)災害・建設業担当	(県土整備部次長)	市川 慎一
理事(兼)都市政策担当	(")	松本 良一
次長	(総務部参事)	鈴木 隆
次長	(市原整備事務所長)	伊豆倉 隆
次長	(都市整備課長)	黒澤 道秀
次長	(道路計画課長)	成毛 一雄
技監 (下水道課)	(県土整備部技監)	在原 雅憲
技監(兼)技術管理課長	(道路整備課長)	小高 俊和
県土整備政策課長	(総務部学事課長)	大竹 秀幸
道路計画課長	(葛南地域整備センター所長)	石田 秀司
道路整備課長	(副技監・高速道促進室長)	金澤 和信
道路環境課長	(県土整備政策課副課長)	橋本 竹博
河川整備課長	(河川計画課長) ※課名変更	佐藤 正芳
河川環境課長	(河川環境課・副課長)	増岡 洋一
下水道課長	(江戸川下水道事務所長)	土屋 清和
住宅課長	(総務部政策法務課長)	中岡 靖
住宅課県営住宅整備室副技監(兼)室長	(建築指導課建築企画室長)	前島 力
営繕課長	(建築指導課長)	杉村陽太郎
施設改修課長	(企・地域・事業管理課施設整備室長)	緑川 政志
技術管理課設備検査室副技監(兼)室長	(営繕課設備室長)	田中 俊雄
総務部管財課長	(環境生活部資源循環推進課長)	鈴木 正明
千葉地域整備センター所長	(印旛地域整備センター所長)	田邊 信次
〃 千葉整備事務所所長	(公園緑地課長)	成田 清俊
〃 千葉港湾事務所所長	(夷隅地域整備センター所長)	高橋 正光
〃 市原整備事務所所長	(副技監・技術情報室長)	黒川 博史
葛南地域整備センター所長	(建設・不動産課主幹(兼)室長)	下原 慶啓
〃 葛南港湾事務所所長	(河川計画課・事業計画室長)	荒木 博美
江戸川下水道事務所所長	(手賀沼下水道事務所長)	布留川良平
東葛飾地域整備センター所長	(企工水・施設維持課長)	積田 宣明
〃 柏整備事務所所長	(君津整備事務所長)	渡邊 健
〃 柏区画整理事務所所長	(都市整備副課長)	大橋富士夫
手賀沼下水道事務所所長	(下水道課副課長)	多田 一美
印旛地域整備センター所長	(葛南港湾事務所長)	大道 等
香取地域整備センター所長	(副技監(兼)土木検査室長)	吉野 榮
海匝地域整備センター所長	(河川計画課・企画調整室長)	鶴岡 誠
〃 銚子整備事務所所長	(道路整備課・橋梁市町村道室長)	細瀨 勝美
安房地域整備センター所長	(県土整備副技監)	小山 良巳
〃 鴨川整備事務所所長	(港湾課副課長)	安藤 孝房
君津地域整備センター所長	(道路環境課長)	川野 徹
〃 君津整備事務所所長	(美しい県土づくり担当課長)	出口 正明
亀山・片倉ダム管理事務所所長	(技術管理課主幹)	三輪 秀朗
高滝ダム管理事務所所長	(君津幹線道路建設事務所長)	矢部 喜幸

山武地域整備センター所長
長生地域整備センター所長
夷隅地域整備センター所長
大多喜ダム建設事務所所長
建設・不動産業課建設業契約室主幹(兼)
河川環境課防災対策室主幹(兼)室長
住宅課県営住宅整備室主幹
営繕課設備室主幹(兼)室長
営繕課設備室主幹
営繕課設備室主幹
施設改修課設備改修室主幹(兼)室長
技術管理課設備検査室主幹
総務部管財課電気保安室主幹(兼)室長
総務部管財課庁舎整備室主幹

(河川環境課長)
(鴨川整備事務所長)
(副技監・企画長生室長)
(印旛地域整備センター次長)
(県土整備政策課主幹)
(水産局漁港課・漁港整備室長)
(営繕課副主幹)
(施設改修課設備改修室長)
(施設改修課設備改修室主幹)
(住宅課主幹)
(管財課電気保安室長)
(営繕課設備室主幹)
(千葉港湾事務所次長)
(県土整備政策課主幹)

力久 広行
関原 正人
佐久間 康俊
田丸 義昭
宮内 常吉
児安 哲司
広瀬 久信
大堀 幸則
竹下 一夫
大熊 秀明
田辺 正憲
滝口 潤
羽田 達夫
鎌形 良明

企業庁

副企業庁長
地域整備部長
次長
事業管理課長
工業用水部長
次長
次長
施設維持課長
事業管理課施設整備室主幹(兼)室長

(地域整備部長)
(総合企画部理事)
(県土整備部技監(兼)技術管理課長)
(ニュータウン整備課長)
(県土整備部次長)
(職員能力開発センター参事)
(東葛飾地域整備センター所長)
(県土整備部副技監)
(営繕課主幹)

吉田 実
高柳 哲男
蓑輪 昇
坂本 雅雄
高橋 諭
山本 恭介
井上 富雄
柿栖 康孝
渡辺 茂

水道局

水道局長
技術部次長
水道危機対策監
技監兼おいしい水づくり
技術部計画課長
危機管理対策室主幹(兼)室長
技術部浄水課施設管理室主幹(兼)室長

(総合企画部理事)
((企・工水) 工務課長)
(給水課長)
(計画課長)
(京葉北部建設事務所長)
(千葉水道事務所次長)
(浄水課・主幹)

堺谷 操
石井 豊和
小原 昇
三浦 明
高橋 豊
幡谷 繁
前橋 孝二

会 務 報 告

平成19年 1月～5月

1/10	県挨拶（新年、総会招待）	県庁・企業庁	事務局長
16	県庁新年挨拶 常任理事会	県庁 協会会議室	会長、會田・富田副会長、輪湖常任理事、事務局長 常任理事4名
17	佐藤のびあき千葉県支部連合会設立総会	オークラ千葉	会長、富田副会長、輪湖常任理事、事務局長
18	18年度決算監査 空調衛生工事業協会賀詞交換会	協会会議室 ミラマーレ	會田副会長、渋谷総務委員長、鈴木・御園生監事、事務局 会長
24	電設協経営企画委員会	電設協	輪湖常任理事
27	新風塾最終	大嶋会計事務所	
29	社会保険調査	社会保険事務所	土屋
30	千葉県電気協会理事会 千葉県電気協会新春講演会	三井ガーデンホテル千葉 三井ガーデンホテル千葉	会長 会長
2/1	空調部会 電設協 委員会	協会会議室 電設協	委員長、委員3名 輪湖常任
8	男女協同参画会議	教育会館	輪湖常任、荒井・長谷川委員、局長
14	理事会 第44回通常総会 懇親会	オークラ千葉ホテル オークラ千葉ホテル オークラ千葉ホテル	理事10名 総会56名 懇親会会員59名賛助16名来賓40名 115名
20	県総会お礼 臨時常任理事会	県庁 協会会議室	会長、富田・輪湖・渋谷副会長、常務 会長、富田・輪湖・渋谷副会長
27	総務・経営委員会担当理事会議 水道局打合せ	協会会議室 幕張	輪湖副会長、五十嵐・黒木理事 常務
28	緊急公共工物品質確保対策等説明会 宮内三朗議員決起大会	さいたま新都心 旭市	富田副会長 会長
3/8	水道局打合せ	幕張	渋谷・鈴木理事、常務
12	千葉県建設産業団体連合会正副会長会議	センター5階	会長
13	常任理事会 理事会 歓送迎会	協会会議室 " オークラ千葉H	常任理事4名 理事10名 役職員18名
15	建設雇用改善推進委員会	オークラ千葉H	富田副会長、常務
16	防災・安全委員会	協会会議室	委員長、副委員長、委員4名
20	県各届出	県庁	常務
22	空調部会打合せ 空調部会 空調PJ会議	協会会議室 " "	富田副会長、濱名委員長、輪湖・富田委員 富田副会長、委員長、委員5名 委員長、委員3名
23	電設協 理事会	Hランドパレス	会長
26	各種団体長懇談会(自民党)	オークラ千葉H	富田副会長
28	水道局 防災協定締結 建産連事務局長会議	水道局 建設業協会会議室	会長、大嶋理事、常務 常務理事
4/3	県立高校空調説明会	協会会議室	委員長、委員2名、担当者10名
9	陳情(印西市庁舎改修、平岡少年の家新築工事)	印西市	富田副会長、常務 (空衛協)

10	県庁異動挨拶 常任理事会 積立金検討PJ	県庁ビル 協会会議室 〃	常任理事3名
11	技術・渉外委員会	協会会議室	副会長、委員長、副委員長、委員6名
12	総務・経営委員会	協会会議室	副会長、委員長、副委員長、委員6名
16	防災打合せ	協会会議室	大嶋理事
18	異動挨拶(水道局) 県出先機関移動挨拶	幕張 南総1-1地区	常務 黒木理事、鎌田委員
19	電設協 人材育成基金WG	電設協	輪湖副会長
20	異動挨拶(企業庁) 県出先機関移動挨拶	幕張 葛南地区	常務 輪湖副会長、五十嵐理事、近藤委員
26	県出先異動挨拶 (千葉地区) 電設協 経営企画委員会		富田副会長、長谷部委員、常務 輪湖副会長
27	電設協 理事会	Hランドパレス	会長

編集後記

いよいよ第52号「千電協だより」からWeb版による発行となりました。中身は従来の形式とかわりませんが、大きく変わったところ、皆さん気づきましたか。隣に載っている写真、ほら総天然色なのです。つまりカラー化の第一号版でもあるのです。最初ということでデザイン等の不均衡感も否めませんが、編集員共々努力して参りますのでよろしくお願い致します。

総務・経営委員会 編集部

